PART4　個人情報とプライバシー

目標
- 個人情報とプライバシーを守る社会の仕組みを理解する。
- 自分の発信する個人情報について，吟味する力を身につける。
- 個人情報とプライバシーがどういうものか，説明できるようになる。

Chapter1　個人情報とプライバシー

個人情報とプライバシー

〔①　　　　　　　〕：生存する個人に関する情報で，特定の個人を識別できるもの。1 つだけでは分からなくても，いくつかの情報を組み合わせて個人が特定できるものも含む。

日本の場合，以下の権利は法律ではなく判例において認められている。

〔③　　　　　　　　　　〕：私生活に関わることを勝手に公開されない権利。

〔④　　　　　　〕：自分の肖像・写真などを勝手に撮影されたり公表されたりしない権利。芸能人や著名人については，経済的な理由から，自身の肖像や名前を無断で使わせない〔⑤　　　　　　　　〕が認められている。

知っておこう
個人情報の定義は，個人情報保護法（正式名称：個人情報の保護に関する法律）による。

知っておこう
判例とは，過去の裁判における判決や決定のこと。先例として重要な役割を持つ。

プライバシー権　肖像権　パブリシティ権

〔② 〕：個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備していると評価された事業者が，その旨を示すためのマーク。一般財団法人日本情報経済社会推進協会が付与している。

たいせつにしますプライバシー
10123456(01)

個人で気をつけたいこと

個人情報は，自分自身でも適切に管理することが望ましい。自分では公開する情報を控えていても，ソーシャルメディア上で繋がったリンクをたどって，複数の情報を組み合わせれば個人を特定できてしまうこともある。また，写真にはジオタグのように目に見えない情報が含まれていることもある。

〔⑥ 〕：写真データ等に含まれる経度と緯度を記した情報。〔⑦ 〕などの衛星測位システムからの電波を利用する。

知っておこう
人工衛星からの信号を用いて，位置測定を行うシステムの総称を衛生測位システムとよぶ。日本でも，「みちびき」というシステムを運用している。

知っておこう
ジオタグのような，データ本体に関連する情報を記述したデータのことを，メタデータと呼ぶ。

自分では特定につながる情報を公開していなくても，
関連するアカウントから個人が特定されることがある

まとめ

・生存する個人に関する情報で，特定の個人を識別できるものを**個人情報**と呼び，個人情報保護法が定められている。
・個人の私生活に関わる情報をプライバシーとよび，日本では**プライバシー権，肖像権**が判例として認められている。
・自分の情報を発信する場合は，さまざまな情報が紐づくことや，写真などの持つさまざまな情報に十分留意する。

Chapter2　実践問題

問 1　次の SNS の投稿について，個人の特定につながる情報がないか考えてみよう。

問 2　次の行為の何が危険か，この後どうなるか考えてみよう。

問 3　自分のスマートフォンで，個人情報に関する設定を確認してみよう。

＜MEMO＞

第1講　PART4　確認問題

問 1　個人情報について日本の判例で，私生活に関わることを勝手に公開されない権利である（　ア　）や自分の肖像・写真などを勝手に撮影されたり公表されたりしない権利である（　イ　），芸能人や著名人については，経済的な理由から，自身の肖像や名前を無断で使わせない（　ウ　）が認められている。

(1)　空欄（ア）に入る語句として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

①　肖像権　　②　著作権
③　パブリシティ権　　④　プライバシー権

(2)　空欄（イ）に入る語句として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

①　肖像権　　②　著作権
③　パブリシティ権　　④　プライバシー権

(3)　空欄（ウ）に入る語句として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。

①　肖像権　　②　著作権
③　パブリシティ権　　④　プライバシー権

問２　プライバシーマークの説明として最も適切なものを，次の①～④のうちから選びなさい。

① 個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備していると評価された事業者を示す
② 個人情報を扱うすべての事業者を示す
③ 個人情報を扱わないすべての事業者を示す
④ 個人情報の管理責任者になるための資格試験制度である

問３　GPS などの衛星測位システムからの電波を利用して記録された，写真データ等に含まれる経度と緯度を記した情報を何というか，次の①～④のうちから選びなさい。

① meta タグ　　② ジオタグ
③ パッシブタグ　　④ ハッシュタグ

第 1 講　情報社会と問題解決

PART1　社会の進展と情報技術

問 1　省略

問 2　人工知能（ロボット）の判断の責任（例 . 自動運転）など

PART2　情報とメディア

問 1　省略

問 2　左上のグラフから，人気が年々上昇しているように見えるが，実際には累積グラフであるため，年ごとの売り上げが増えているわけではない。など

PART3　知的財産権

問 1　②，③，⑤

問 2　保護される著作物か，著作権の及ぶ利用行為ではないか，など

PART4　個人情報とプライバシー

問 1　利用している駅，通っている高校（制服から特定），など

問 2　個人情報を抜き取ることが目的のアプリである可能性がある。

問 3　省略

PART5　情報セキュリティ

問 1　ID/PASS の設定を見直す。など

問 2　(1) フィッシング詐欺の可能性がある。

(2) 詐欺を目的とした Web サイトで，入力した個人情報や金銭を騙し取られる可能性がある。

PART6　問題の発見と解決

問 1　ルールが守られないと：批判されるのが嫌で，新しい意見が出なくなる。など

これ以外に必要なルール：リーダーを決める。など

問 2　省略

問 3　省略

第 1 講　PART4　確認問題　解答

問 1

(1)　④

解説：

プライバシー権は，私生活に関わることを勝手に公開されない権利である。

(2)　①

解説：

肖像権は，自分の肖像・写真などを勝手に撮影されたり公表されたりしない権利である。

(3)　③

解説：

パブリシティ権は，芸能人や著名人が経済的な理由から，自身の肖像や名前を無断で使わせない権利である。

問 2　①

解説：

一般財団法人日本情報経済社会推進協会が付与している，個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備していると評価された事業者を示すためのマークをプライバシーマークという。

問 3　②

解説：

写真データ等に含まれた緯度と経度を記した情報をジオタグという。